

ソワニエ看護専門学校 広報誌 Vol.26 2022.Sep.

ソワニエ通信

soigner Nursing College

〈編集・発行〉
ソワニエ看護専門学校
〒703-8265
岡山市中区倉田394-3
電話(086)274-6455
ホームページ:
https://www.soigner-nc.jp
E-mail:info@soigner-nc.jp
〈発行責任者〉奈木野 佳代



1年生
28期生



地域に寄り添い学ぶ 新カリキュラム「地域看護学」



学年担当
から

今年度からスタートした新カリキュラム「地域看護学」に伴い、「地域看護学」という新しい科目が設定されました。看護師の働く場も対象も多様化しており、看護の対象を生括者として捉え、地域に出て学ぶ必要性があります。地域が学べる手がかかりとして思っていたのが地域に根強い民医連ならではの班会でした。

夏休み期間を利用して、学生たちは数名ずつのグループで班会に参加させていただいています。班会に参加されている方と触れ合うことで、健康への思いを知ることができたり、自分たちが暮らす地域に関心を向け、生活者の一人として地域の特性について考えることができたりするなど、楽しいひと時から多くの学びができています。また、異なる世代の方とのコミュニケーションが行えたことは、9月に実習を控えている学生達にとっても良い体験となったのではないのでしょうか。最後に、今回班会に参加させていただいた皆様へ、ご協力いただいた地域の皆様、運営に関わってくださった皆様に感謝を申し上げます。



▲各地の班会に参加して



事務長自己紹介



事務長 風早 和広

4月から事務長（県連事務局と兼務）になりました。学校という今までに経験の無い仕事で、1からの勉強です。

困難を抱えた学生も多く、教員と協力しながら、多くの看護師を生み出していきたいと思えます。

校長先生紹介



学校長 木村 基信

4月から着任している木村校長を紹介いたします。

学校設立から本校に携わり、開校後は1期生からずっと解剖生理学の講義を担当しています。実習病院では麻酔科医として某元テニスプレーヤーのごとく学生への熱血指導をしています。

先生の熱意は学生への愛。

2023年度入学試験概要

1. 学 科…
看護学科・3年課程
2. 募集定員…
40名・男女共学

学校
説明会

- 2022年 10月8日(土)9時~11時
- 2022年 11月23日(水)9時~11時
- 2022年 12月3日(土)9時~11時
- 2023年 1月21日(土)9時~11時
- 2023年 2月25日(土)9時~11時



学校説明会は、新型コロナウイルス感染症の状況により開催日時の変更等があります。詳細はホームページでご確認をお願いします。

専願推薦入試、社会人・大学卒入試、一般入試の日程

試験区分	願書受付期間	試験日	合格発表
指定校・一般推薦(専願)一次入試	2022年 10月1日(土)~10月11日(火)【必着】	10月15日(土)	10月18日(火)
指定校・一般推薦(専願)二次推薦	2022年 10月18日(火)~11月15日(火)【必着】	11月19日(土)	11月22日(火)
社会人等(専願)一次入試	2022年 10月1日(土)~10月11日(火)【必着】	10月15日(土)	10月18日(火)
社会人等(専願)二次入試	2022年 10月18日(火)~11月15日(火)【必着】	11月19日(土)	11月22日(火)
一般一次入試	2022年 11月16日(水)~12月6日(火)【必着】	12月10日(土)	12月13日(火)
一般二次入試	2022年 12月13日(火)~2023年1月10日(火)【必着】	1月14日(土)	1月17日(火)
一般三次入試	2023年 1月17日(火)~2月14日(火)【必着】	2月18日(土)	2月21日(火)
一般四次入試	2023年 2月21日(火)~3月14日(火)【必着】	3月18日(土)	3月22日(水)

資料請求・
お問い合わせ

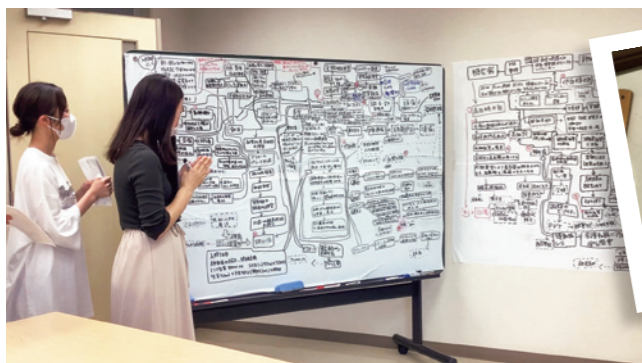
(公財)林精神医学研究所 ソワニエ看護専門学校
☎086-274-6455 HP. https://www.soigner-nc.jp
担当:風早・石原・江口



編集
後記

コロナウイルスも様々な型に変異しながら人間と共存したいらしいが、コントロールできず振り回されっぱなしの私達はこれから何をすることが良いことなのか。学生たちには制約をかけ心身ともにストレスを与えていることに心苦しく切なく思う。早く学生たちの屈託のない笑顔を見たいものです。





3年生 26期生

クラス目標

助け、支え合って 国家試験100%合格

26期生はCovid-19感染症が世界中に広がり、医療に携わることの大きな期待と不安を胸に入学しました。学校行事も中止や延期が多く、私生活での行動も制限、自粛して過ごしました。オンライン授業や学内実習、臨地実習も感染状況により変化がある中、学習を継続してきました。

3年生になり「助け、支えあって国家試験100%合格」のクラス目標を立てました。Covid-19の中で学生たちは、お互いに支えあい、助け合うことが出来ていたからこそ自然と出てきた目標になったのではないかと考えます。

臨地実習を支えあい、助け合いながら乗り越え、国家試験100%合格目指して頑張ります。

3年生になり、各論実習や次の実習準備模試、そして就職活動など、毎日多忙な日々を送っています。6月には就職試験を受け、無事内定を頂き、安心しました。夏休みに入り、補習が始まり、校長先生、教員の方々、外部の講師の先生が国試対策を下っています。卒業まであと半年!! 国家試験に向けて全力で頑張るとともに、残りの学生生活を楽しくしたいと思います。

2年生後半から始まった各論実習や就職活動、卒論の準備など目の回る様な忙しさの中、国試に向けて夏休みも補習の毎日を送っています。やることの多さや自分の知識の無さで落ち込むことも多いのですが、1年の時には理解できなかった病態への理解が深まってきて、少しずつではありますが自分の成長を感じる事ができています。残り少ない学生生活を有意義なものにするべく、精一杯の前の事に取り組んでいきたいと思っています。そして絶対に国試に合格し、夢だった看護師の道を歩んでいきたいと思っています。



精神看護学実習

林病院や作業所を中心に実習を進めています。患者さんの日常生活の問題や社会背景を知り、看護実践などを学び学習していきます。患者さんの悩みの本質を知り深く個別性の理解をするこの重要性や難しさも同時に学ぶ精神実習となっています。



学年担当から

3年生は臨地実習の前半が終わり、夏休みの補習を頑張っています。実習を振り返りながら、解剖生理や病態学を復習して学びの再構築を行っています。またその合間の時間で文献検索やアンケート集計など卒業研究の準備を行っています。最後の夏休みを利用し、学習面だけでなく幅広く有意義な学びを得て成長した夏休みを過ごしたと思っています。助け、支えあって国家試験100%合格に向けてクラス全員で取り組んでいきたいと思います。



成人看護学実習

4月からの実習で実際に受け持ち患者さんと関わることがはじめてという学生もたくさんいましたが、不安と期待が入り混じる中実習に臨んでいました。学生は事前学習をしても不安が大きい状況でしたが、患者さんや指導者さんとの日々の関わりの中で、生き生きとした表情で看護を行う喜びを感じていっています。実習の中で指導者さんのような看護師になりたいという意見も多く、様々な体験を通して学生の成長がうかがえる成人看護学実習となっています。



▲模擬血液を使って演習中

2年生 27期生



新入生歓迎会



新入生歓迎会、自分たちは何が出来るのか...話し合い、考えました。新入生が早く学生生活になじむように、自分たちが1年生の頃に不安だったことをどう乗り越えたかを伝えたい。そんな思いから感染対策にも留意し開催。

オリエンテーションやゲームも取り入れ3年生は実習中にも関わらず、メッセージ動画を作成し参加してくれました。お互いが思いやりを持ち、学生生活を送る中で様々なことを学び、理想の看護師に歩み成長していきたくて頑張っています。

クラス目標

One for all all for one



クラス目標を話し合い、「ワンチーム one for all, all for one」で取り組んでいくことを決めました。2年生では、看護師国家試験の問題集も解き始めます。学年の中から国家試験対策委員会をつくり、クラスみんなで取り組んでいます。

4月初め、感染予防に努めるために2クラスに分かれた状態で始まりました。その中での話し合いや取り決めなどに苦戦しましたが、クラス委員を中心にみんなで話し合い、一つひとつ乗り越えています。変化の多い環境が続きますが、目標に掲げた「ワンチーム one for all, all for one」で乗り越えていけるようにみんなでやり遂げたいと思っています。

基礎看護学実習Ⅲ

1年生の際は、感染拡大により臨地実習が通年の半分しか経験できませんでしたが、基礎Ⅲ実習では幸いなことに臨地で貴重な学びを行う事ができました。そこから学生一人ひとりがそれぞれの患者さんの健康状態に必要な看護を指導者さんの指導のもとで実践し、患者中心の看護とは何かを学ぶことができました。実習での関わりや学びを振り返り、記録物で覆られない日々を過ごしましたが、看護することの喜びを患者さんとの関わりを通じて感じ、それぞれの学生の看護観も深まる経験となったのではないのでしょうか。ご指導いただいた皆様に感謝です。

